

しでがの通信  
第47号  
羽津小 P・T・A  
編集発行  
発行所 羽津小学校

# 夏休み指導方針について

教頭 小塚 久美雄

夏休み……子どもたちにとって、もっとも楽しいときであると思います。

時間的に制約をうける学校の生活から解放され、家庭・地域社会を中心としか生活となり、自分の自由な時間を多くもつことができようになります。

この夏休みに、子どもたちは何かやってみたい……、ばく然ながら、そんな意欲をもっていると思います。

こうした子どもたちの意欲、願望といったものを計画化し、また具体化させることによって、自主的に、自発的に夏休みを如何にしていくかを考えさせるように指導していくことが大切だと思います。そのためには、それぞれの子どもの能力や特性に応じ、それぞれ

ちがった家庭の条件にあわせた生活設計がなされるようにしなくてはならないと思います。

そして、その計画・内容は実行不可能なものでなく、しかもゆとりのあるものでなくてはならないと思います。

本校としては、

一、自ら計画し、実践することにより、「やればできる」喜びの中に、自主的な家庭生活の喜びと楽しさを味わせる。

二、心身の休養と鍛練をはかる。三、自由時間を有意義に使うくふうをする中に、自主的な生活態度を養う。

四、地区子ども会の活動に積極的に参加し、生活態度の向上をはかる。

五、危険をさけ、進んで自らの身

目次	頁
夏休み指導方針について	1
我が家の夏休みの計画	2
専門部だより	2
辻原みどりさんの死をいたむ	2
P.T.A. 図書	3
管理棟建築はじまる	3
児童作品	4
児童作品	5
緑の学校(於・青少年野外センター)	6
児童作品	8
常任委員会だより	8
ですくさいど	8

を守る習慣を身につけさせる。

以上、五項目の指導目標を設定しこれをもとに、学年に応じた夏休みの過ごし方についての指導がされることになっていきますが、生活、学習、保健安全の三つの面について、かいつまんで二・三のことを申し述べたいと思います。

## 1. 生活面

児童会・町子ども会でいろいろな約束や、申し合せがなされるとありますが、自分たちでできたことは、お互いが守るよう心がけること。

各自に、むりのない夏休みの計画、日課をもち、それに合わせた節度ある生活をおくること。

## 2. 学習面

学習の時間を設定しておく、その際に配慮することは、  
◎なるべく早い時間にしように、  
◎学習のめあてとことばをはっきりさせて、

◎学習時間の長さは、よくばらないで、

◎根気のいる学習も、平素、学校のあるときではなかなかできにくい観察、製作、調査、研究などもこの機会に、

## 3. 保健安全面

長期の治療を要するものは、この機会に完治させておくことが大切。また、適当な休養をとる二学期にそなえる。

特に安全については、学校のあるときでは体験できない場合に多く出合うと思えます。登下校時とちがった時間帯に、外出することもあり、交通事故防止について配慮する

水の事故、その他の事故についても、自ら事故防止につとめるよう配慮する。

「むりのない計画」自主的、自発的、にとか、最初へのべたのですが、ここに書いたことを全部

やらせ、また、やろうとするとかえってむりがあったり、押しつけになるおそれもありますが、ご家庭でご指導いただく上に何かひとつでも役にたてば、と申し述べました。

いずれにせよ、三十七日の夏休

## 我が家の夏休みの計画

別名二丁目 宮嶋美代子

梅雨も後半期に入りますと晴れ間の折の日射は一段と夏らしくなり、日中の暑さは盛夏のようです。こんな時、スイカ、メロン、瓜、トマト、アイスクリーム等を冷たくして子供達の帰りを待つのも夏ならではの楽しみです。

暑い夏をどのように涼しく、楽しく過ごそうかと誰しも考えてみるものですが、私は夏は暑いものと割り切って、反対に暑い夏でなくてはできない楽しみをつい思い浮べてみます。夏休み中にしては遠い所へ旅行に出かけるのもいい計画たおれで行くことも少なくせいせい実家に子供づれで、帰っていくのが常でした。でも元氣一杯の子供達が満足してくれるまで付き合うのは大変な体力と根気のいるもので、私などとても子供と一緒に遊ぶことは無理と思

みを終えたあと、いい夏休みだった、夏休みがあったよ良かったと思うことが出来る夏休みを過ごすことができるよう、家庭と学校が一体となって努力したいと考えています。

五年生の二女、幼稚園三歳児の長男と我家は多彩の顔ぶれです。夏休み中も銘々それぞれの友達と一緒に遊ぶことで無我夢中のことと思われませんが、夏休み中では仲々できないこと、家事の負担をさせようと思っっています。家族の共同使用の場所の整理整頓、食事の手伝い後片づけ等を少くも一、三十分づつでもお手伝いをさせること。

二、勉強は朝食の後一時間半びつしりやること。

この二つを実行させようと思っっています。小さな小さな計画ですが、子供達のペースで今後ふやすことも可能なわけです。子供達に相談しましたら「いいよ」という返事をしてくれていますので、どこまでやれるかやってみようと思っっています。

## 専門部だより

### 母親部活動

部長 安福登美子

この度、母親部の年間行事として、手芸サークル、食品工場の見学を、計画いたしました。

早速六月末より、手芸サークル会員にお集りいただき、第一回、第二回となごやかなサークル教室を終えさせていただきました。

又、親子で楽しんでいただけるサークルにしたいと、夏休みを利用して、親子サークルを計画しております。

今後、お母様方の和を、広げて、作品の一つ一つを、身に付け乍らこの一年間意義のある、サークル活動の場にしてまいりたいと思っます。

現在、サークル会員でない方もご自由に御参加下さい。

次回の手芸教室  
場所 羽津公民館  
日時 七月二十六日(土)  
午前九時より十二時まで

食品工場見学として、一志郡にある松田産業で、お子様達に親まれているベビースターラーメンの製造工場を見学致しました。

PTA会員四十名の参りを行いました。

だき、七月九日、九時五十五分、近鉄阿倉川駅を出発、十一時工場に到着し、早速工場内を、社長さん自らのご案内で見学させていただきました。

まず最初に、ベビースターメンの出来上る工程の説明を受けました

が、粉がサイロに入り、ラーメンに加工されて行く間に、味付けされ、最後に揚げられ(植物油で、揚げられます)製品となって、包装されるまで、すべて機械化されており、この工程の機械五台で、一日五十万食の製品が、出来上るという事です。

その他、即席ラーメン、おせんべい工場も見学廻りました。

その後、会社の生立ちのお話があり、粉屋さんで始まり、ラーメンの最初の製品である。広東麵を製品化され、その後即席ラーメン、和そば製品まで生産されているとの事です。

見学されたお母様方一同、機械化された、各設備に感心すると共に、見学者に三角布を希望される等、工場に働く人達の服装にも、配慮をされ、食品工場には当然な事とはいえ、衛生面に神経を使っておられることがうかがわれました。

(三頁下段につづく)

## 辻原みどりさんの死をいたむ



### 辻原みどりさん

三の三 田村佐奈江

みどりちゃんは、わたしが山口県から四日市市に引っこしてきてようち園に行った時、一番さいしょに、

「いっしょにあそばない。」と、いってあそんでくれた、一番さいしょの友だちでした。今年いっしょの組になりました。みどりちゃんは、図書係で、わたしがわすれてくると、

「いいわよ。あしたでもいいんだから。」

と、いって、ゆるしてくる、やさしくて、おとなしい人でした。また、ミーちゃんは、ボールなげとか、まりつきとか、ふえが上手だったのに、もういっしょに勉強やおそぶことができせんのでさみしいです。

みどりちゃんがひかれたとき、わたしは、「早くなおると

いいのになあ。」と思っっていました。それなのに、どうしてみどりちゃんは死んでしまったの。教室のみどりちゃんのつくえの上には、花がいっぱいかざられています。

さいごに、三年三組のみんなはみどりちゃんが、天のめぐみになることをいっています。

### 交通安全

安全部 M・T

「車に気をつけて帰りなさいよ。」  
「明日はお休みだから、あぶない遊びや、車に気をつけてね。」  
「はあい。」

子どもたちの、元氣な返事がかえってくる。

こういって、毎日子どもたちを帰すのが我々の日課となっている。しかしどれだけこの注意をうけてもいてくれるでしょうか。いつもいつも同じ言葉に、子どもたちはなれっこになってしまっ聞きながしてしまっ方が多いのではな

いでしょうか。

四月以来、まず一年生の子の交通事故、車の下にはいってしまって大やけどをしました。

その後二年生と三年生の子どもが事故にあっっています。

最後に辻原みどりさんの御冥福をお祈りいたします。

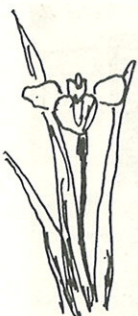
### PTA図書

- 夏休みに、おすすぬしたい 十五冊の本
- 私の心に残る母の教育 今 東光他
- 好かれる母、嫌われる母 坂本 亮
- 子をおもう母との対話 秋山照子
- 家庭学習の質問に答える

最後になりましたが、PTA会員御一同様のご協力により、見学出来ました事を喜んでおります。

今後、手芸教室、工場見学も、皆様のご協力で続けてまいりたいと思っっておりますのでよろしくお願

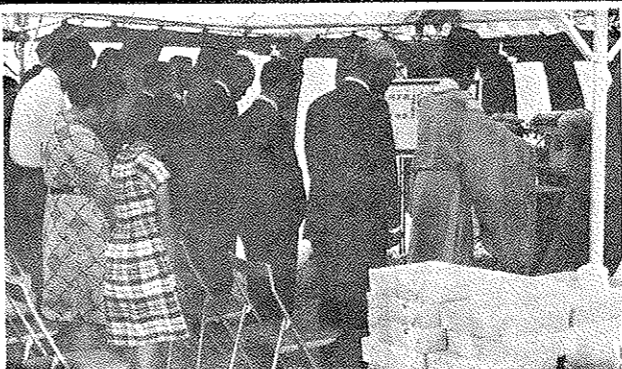
- ◎ほめてよいこと、わるいこと 原田治子
- ◎家庭学習の場づくり 鈴木道太
- ◎母ありてこそ 石堂 豊
- ◎子どもの心理と家庭教育 周郷 博
- ◎母は子の心に灯をともし 柴原恭治
- ◎どの子もみんなすばらしいのに 川口半平
- ◎続、どの子もみんなすばらしいのに 鈴木祥蔵他
- ◎しんのある家庭教育 岸 武雄
- ◎愛情をはぐむ親子日記 長山峰吉
- ◎お母さんの算数教室 黒田孝郎
- ◎父親復興・新子ども抗議 鈴木道太



# 管理棟建築はじまる

梅雨があけて、運動場の照り返しが一段と厳しく、簡易プールは毎日大盛況で児童の元気な声が聞えてくる。

新管理棟、特別教室の建設は着々と進行していて、今日もダンブカー、ショベルカーの活動が行われています。建設進行の概況と、建設校舎の概要をお知らせして、今後のご協力をお願い致す次第で



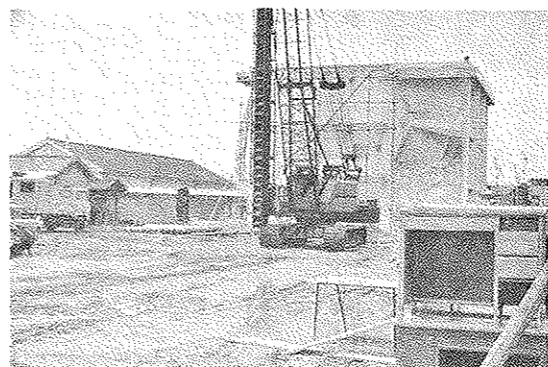
。六月十九日～二十二日：職員室放送室、校長室、給食室の移転を行う。  
。六月二十三日より旧木造管理棟給食室の取りこわし、六月の末日は、二十数年活用された木造校舎は完全に姿を消し、一沫の淋しさを感ずる。  
。七月四日吉日、地鎮祭を久志本組主催で挙行される。  
好天候に恵まれ、市当局、地元代表、県市議員、PTA、学校児童代表が参列して盛大裡に終る。  
。七月七日、杭打が始まり、十五日にはベース打が開始された。  
今回の工事は鉄筋三階建て、

面積	628,366	㎡
建築面積	628,366	㎡
1階	555,982	㎡
2階	555,982	㎡
3階	555,982	㎡
計	1740,330	㎡

一階：教室(1)、職員室、校長室、放送室、保健室、印刷室、更衣室、湯沸室、便所  
二階：教室(3)、理科室、同準備室、便所



三階：教室(1)、音楽室、同準備室  
家庭室、同準備室、便所  
以上の外に、給食用リフトが設置され、羽津小学校も見違える程立派になることでしょう。  
完成は来年三月一日の予定ですので、六年生も、たとえわずかな期間でも新館の雰囲気味わわせてやりたいと願っています。



## こんなお母さんに

### なってほしい

五年二組 谷口今日子

学校から家に帰る。  
「お母さんただいま。」  
と、私は、言ったとたんにくっつ下をぬいで、ほったらかしにする母は、それを見つけて、  
「これはだれの、もうなんべん言ったらわかるの、ぬいだらすぐに洗たくかごに入れるって、やくそくしたでしょう。」  
と、大きな声を出して、ひっしでおくる。私はすぐにごとを言う  
「もういつもいつもお母さんにしかられる。うるさい母だなあ。  
あんなにおこるとしわがふえるなもうちょっと、おこらずに、いていつもいつもニコニコしてくれればなあ。こんなお母さんだったら大好きだ。」  
なんて、思うのだ。  
そして母にそのことを言うと、  
「毎日、そんなに、ニコニコしていたら、家庭の仕事が、できないでしょう。そんなにニコニコしてほしかったら明日から言うことをうーんときくんだね。」  
と、またしかられる。

「あーあどうしてこううまくいかないのかな、ようし明日から、きちんとしよう。」

と思うばかりだった。

学校から帰った。

くっつ下をきちんと洗たくカゴに入れて、母のそばをくっつき回る。  
「お母さんあのねくっつ下ちゃんといれたよ。」  
「そんなことあたりまえだろ、もう十一歳になるんだよ」  
と言われて、がっくりした。  
「あーあ早く、思っている母になっしてほしいなあ。」  
けれど私だって、私のいうことを聞けば、思っている、すばらしい母になっくれるだろう。

## 私がおし先生だったら

五年二組 藤井雅弓

先生は、だいたい、子供がすぎな人が先生になる。  
でも、先生は、私たちをすぐおこる。  
だから私も、先生になったら、子供たちを、びくびくさせてやる。でも、休み時間になったら、子供たちの、びくびくした心をなげとばして、みんなと遊んでやる。  
そして給食の時間になったら、欠席の子のパンやミルクやおかずを私がおもらって食べる。  
また、そうじの時間になれば、私がおし先生のいいときは、みんなのそうじをてつだってやる。

「早く、お部屋に入りなさい。」  
時々、飼育小屋に入る時、聞こえる声。  
私は、前から幼稚園の先生になりたいと思っていた。オルガンをひく私、そして、みんなは歌を歌う。みんなといっしょに遊ぶ私。そして、みんなが、「先生、先生」と。  
そりゃ時にはオシッコをもらす時がある。それにけんかだつてする。でも、私は、そんなのへっちゃら。今だつて幼稚園のかわいい

気げんの悪いときは、もちろん、すぐおこつて子供たちをびくびくさせてやる。  
先生は、給料が安いかわりに、いつも学校へ行って、苦勞をしなければならぬ。だから、みんなを先生たちの身になつてもらうんだ。  
だけど、そんなにおこっている、子供たちにきられる。子供たちは、やさしくて、きれいで、おもしろい先生がすぎなんだ。だから、やっぱり、子供たちに、すかれるようにしたほうがいいかなあ。  
先生って、つかれるなあ。

## もし、わたしが先生になったら

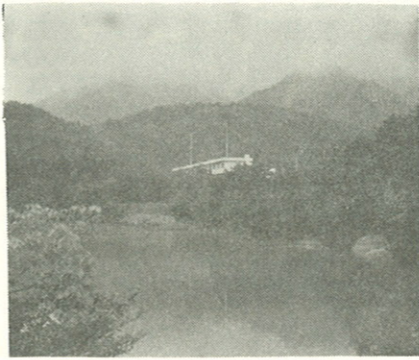
六の四 岩田真理子

「早く、お部屋に入りなさい。」  
時々、飼育小屋に入る時、聞こえる声。  
私は、前から幼稚園の先生になりたいと思っていた。オルガンをひく私、そして、みんなは歌を歌う。みんなといっしょに遊ぶ私。そして、みんなが、「先生、先生」と。  
そりゃ時にはオシッコをもらす時がある。それにけんかだつてする。でも、私は、そんなのへっちゃら。今だつて幼稚園のかわいい

「口に入れたらか。」  
などと言うと、  
「うん。」  
と、うなづく子もいる。そうすると、さっそくやってあげる。おかずを無理に食べている様子を見てみると、かわいそうで、でも、やめさせるわけにはいかないし……。  
ただ、  
「がんばって、もうちょっと。」  
と、おうえんするだけ。  
私が先生になったら、みんなから「先生、先生。」って言われるやさしい先生。そして、一番大切なのは、一人一人大切に、楽しく明るい、みんなの気持のわかる先生になりたいのです。

# 緑の学校

## 於青少年野外センター



### 初めての一日

六の五 片岡弓子

「グリーンスクールって楽しそうやな。」

と、おべんとうを食べながら言った。内部川へ遠足の途中だ。部屋の風景、ベットの様子など、想像しながら楽しんだ。

遠足から帰って、センターの私たちの話を聞いてから、二階の五号室に入った。五号室は、わたしたちの部屋だ。

「わあ、すごくかっこええやん」男子は、五号室のことをこんなふうには言っていた。

「五号室はパイプ式の気持ちわるいやつやぞ。」

言われた時は、少しいやな気持ちになったが、部屋を見てそんなことは忘れた。

荷物の整理をした。ひとりずつ大きなロッカーがある。わたしがすっぽり入られるような……。

ベットは二段ベットで、ひとりたみ一じょう分だ。そこで遊べるからとつても気に入った。夜の十時が待ちどおしかった。

そのあとは自由時間で、持ってきたトランプで遊んだり、かえ歌をみんなで歌ったりして楽しんだ。集団生活の一つの楽しみがやってきた。入浴だ。組の女子全員で、「わああー。」と入るでっか

いおふろは初めてだ。はずかしいと思う子もいるだろう。でもわたしは楽しみだ。それでもやっぱり下半身は、タオルで巻いて入った。みんな巻いていて、わたしだけ巻かないなんてはずかしい。だからだ。あっちゃんとわたしは、すぐ入ってしまった。一番のりだ。石けんで身体をこすった。みんなが入ってくるころ、わたしたちはもうお湯に入っていた。また、すぐ出てすぐ服を着た。

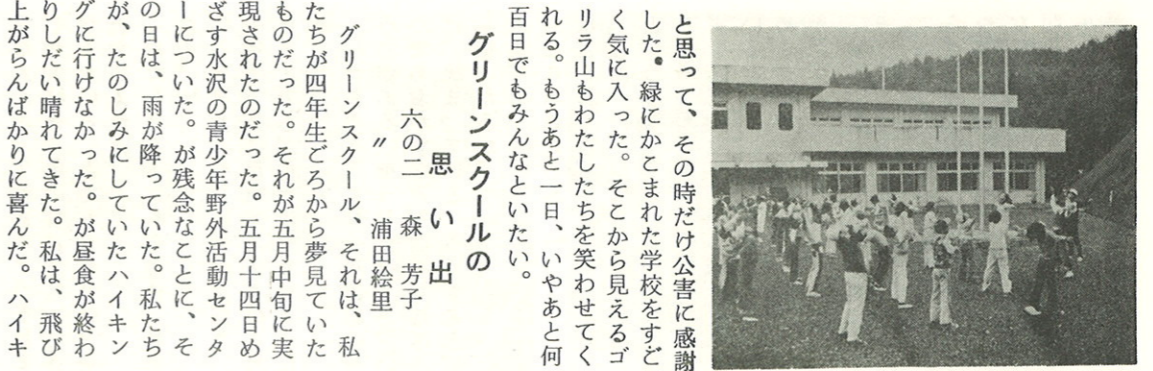
食堂で、夕飯を食べる時も楽しかった。セルフになっている。いつも食べているものでも変わっておいしいそうに見えた。おじいさんの説明で、

「さかなの骨も食べられる人は食べなさい。」

と、じょうだんで言ったことを本気にして、細かい骨は全部食べた。先生たちに見せたら笑ったので、わたしたち自身でもおかしくな

た。

三日間をふり返ってみると、やっぱり初めに思ったとおり、グリーンスクールって楽しい。これが勉強ならば、日曜日でも勉強したい。何十時間もおとうさん、おかあさんとはなれていても、少しも「帰りたい、さみしい」と思ったことはない。



### グリーンスクールの思い出

六の二 森 芳子

浦田絵里

グリーンスクール、それは、私たちが四年生ごろから夢見ていたものだった。それが五月中旬に実現されたのだ。五月十四日めさす水沢の青少年野外活動センターにいった。が残念なことに、その日は、雨が降っていた。私たちが、たのしみにしていたハイキングに行けなかった。が昼食が終わりしだい晴れてきた。私は、飛び上がらんばかりに喜んだ。ハイキ

ングに行くとき山道を通っていた。雨が降ったあとだったので、歩きにくかった。橋のところまでいざんした。みんなは、四方へちらばっていった。みんなはお喜びで、橋の下を通ったりしていた。わたしたちは、がけの方へ登っていった。歩く道が、えらいように感じられた。ある子が、きれいな石を拾った。わたしたちは、その石を先生に見せたくないので先生のいる方へ行ったりした。もみじ谷へもいった。予想どおり、きれいな所だった。わたしたちは見るだけで満足だった。それから一時間あまり遊んでから、帰った。そして、食事があった。だいたい歩いたのに、おなががすいていなかった。今思い出してみると、なぜ、あんなに食べられなかったか不思議だ。きつときんちようしていたせいだろう。そのあと入浴をした。ほんとうは、キャンプファイヤーをする予定だったが、雨が降ったあとだったので中止になってしまった。みんなは、むっつりしていた。今、思ってみるとても残念でたまらない。その代り、というとなんだけれどもいままでもゲーム大会にそなえて練習してきたものを発表するのだ。あの時は胸がドキドキして声がでないほどだった。ある子たちは、ゆうれい君という人間けきをした。みんな

「キャラクター」とさわいだ。あの時のことを思ってみるとばからしくてついふき出してしまふ。ねる時あまりみんなねつかれなかつた。あるへやの人がかべをトコトコならしたりしていた。時には私たちがねてから食堂へ行っておかしを食べていたこともきかないことはなかった。その次の日もまたその次の日もそんなことがつづいた。

三日目のことだった。朝起きてみると、今までのすききらいをしてきたせいがおなががすいてたまらなかつた。それからそうじだ。今、思い出してみても、ついふきだしてしまう。

この思い出を、いつまでも大切にしたいと思う。このグリーンスクールでいろいろなことを学んだと思った。が、一日もいとお天気にならなかつたことが、今でも不満に思う。

### グリーンスクールに参加して

六の三 岡屋 由里

私達六年生は、A班とB班に分かれて、水沢にある野外活動センターへいった。

私は、三組なのでA班だ。A班は、五月十二、十三、十四日の三日間のグリーン・スクールをおお



いにたのしんだ。

第一日目は、センターについて早速に、宮妻峽へ、ハイキングに行った。宮妻峽への道のりは、長かった。

そして、キャンプファイヤーもやった。みんなが輪になって、歌を歌ったり、フォークダンスをしたりしてたのしんだ。

第二日目は、朝から、森林観察に出かけた。

森林観察から帰ると、私が一番たのしみにしていた球技大会だ。ドッチボールはおしくも二位だったが、リレーは、完全なる独走で一位だった。男子は、ドッチボール二位、リレーは、どんけつだった。

第三日目は、今、作文を書いてる。私は、ほんとうにグリーン・ス

クールに参加してよかったと思う。理由は二つある。

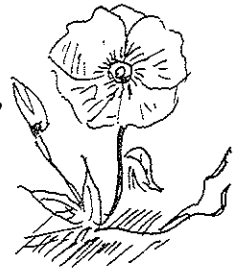
まず第一に私たちのクラスの女子の仲がよくなったことだ。グリーン・スクールに来るまえの女子の仲は、悪かった。五、六人のグループにわかれていたのだ。でも、グリーン・スクールに来るとふだんあまりしゃべらない人達ともふざけまわっていた。特に「ドラゴン」のまねをしたり、「ボクシング」をしたりして、学校とうってかわってのたのしさだった。

トランプをさそいあったり、お手玉をさそいあったり、野球ゲームをさそったりもうじつとしていなかった。

いつもこんな様子だといのにと思った。

理由の第二は、学校の近くでは見られない森林がすぐそばにあるので森林の勉強も、よくできた。こういう縁にかこまれたところは、車の音も電車の音も聞こえない。だからこういう所に、学校があれば静かだと思ふ。でもそれは、ちょっとむりだと思ふ。だからもっとこんな施設をふやせばいいと思ふ。

縁にかこまれ、友達とすごした三日間は、すばらしい思い出としていつまでも忘れないうら。



くも

二の一 いわわき みな

青い空に、  
ふわふわ  
ういている  
白いくも。  
口の中に  
入れたら、  
わたがしのように  
あまいかな。  
もし、くもにのって  
空をとべたら、  
ハイジのいる  
アルプスへ、  
行ってみたい。

友だち

二の一 はやし あき  
わたしの友だちは、いっぱいいる。

五十人ぐらいいるけど、よくあ  
そぶ友だちは、しほちゃん。いっ  
しょにべんきょうする友だちは、  
よしきくん。よくけんかをする友



### 児童作品



だちは、いません。  
たくさん友だちがいるので、わ  
たしは、たいくつするときはあり  
ません。  
たくさん友だちが、いるといい  
なあ。きょうだいもいいけど、よ  
くけんかをするからいや。  
友だちっていつでも、すきな友  
だちもいる。その人は、ないしよ  
だ。

友だちは、よくな  
いしょばなしをする  
が、わたしはしたこ  
とがない。だから、  
友だちがななしよば  
なしをするを、ちか  
よってきいてやる。  
そのないしょばな  
しをする友だちが、  
一ばんきらいです。

おとうさんの手  
四の三 溝口 隆

おとうさんの手を  
にぎった。

かたくて 大きな手だ。  
くろいあかの ついた手だ。  
しごとで  
あせのついた手だ。  
大きな男らしい手だ。  
そんな おとうさんの  
たくましい手が、  
ぼくは 一ばんすきだ。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
常任委員会だより

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第三回常任委員会は去る七月九  
日(水)七時より開かれました。  
要点を報告致します。

一、専門部活動報告並に七月の計  
画について、各部長より報告)

二、学校行事について(小塚教頭  
より報告)

三、本年度プール運営について  
小塚教頭より本年度も昨年と  
同様に学校プールを開放するの  
でPTAに監視をお願いしたい  
旨依頼、尚、本年も鯉ヶ浦、白  
須賀、富士は監視プールを使用す  
るので監視割当てからはすすこ  
とを了解する。



おさそい

音楽のつどい

みなさん、声を出して、うたを  
唱ってみませんか。  
楽しい、ハーモニーをつくるメン  
バーを募ります。一人でも多く参  
加して下さい。山本先生までお申  
しこみ下さい。

訂正  
前号役員名簿のうち、山手  
町々代表が間島二郎氏になっ  
ておりますが、掛下八郎氏に  
訂正願います。

で  
す  
く  
さい  
ど

★暑中お見舞申しあげます。

★メ切りま近かになって、原稿集  
めにとびまわり、ようやく夏休  
みまでに第二号をお届けするこ  
とが出来ました。夏休みの方が、  
先に来てしまわないよう、必死  
の編集でした。

★梅雨があげ、せみの声が焼きつ  
くような毎日。でも元気な子ど  
もたちの声に、せみの声が、か  
きけられてしまっている。そし  
て、水をえた魚のようにプール  
で泳ぎまわる子どもたち。盛夏  
である。

★児童にカットを募集したところ  
沢山集りました。今回のカット  
は、すべて児童の作品です。

★次号は、父親の教育提言、につ  
いて特集いたします。

いろいろの年代のお父さんの原  
稿をお待ちいたします。  
八月二十一日迄に、中林先生ま  
で、